

## 【様式1】

令和5年度 授業改善推進プラン

## 東久留米市立南町小学校 第6学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の漢字を書けない児童が3割程度いる。</li> <li>文章を読んで自分の考えを書く時に、文章に書いてあることをそのまま書き抜いていて、内容に基づいて考えを深めることができない児童が4割程度いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2週間に1回の漢字テストを行い定着を図る。</li> <li>漢字の50問テストで8割を超えるようにする。</li> <li>文章を読む際は考えを書く時の観点を提示し、考えをまとめる時間を1回は設ける。</li> <li>内容に基づいた思考ができる児童が8割以上になるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>通分など既習の分数の計算が定着していない児童が3割程度いる。</li> <li>2桁以上の割り算や小数の割り算の計算が正確にできない児童が4割程度いる。</li> <li>小数と分数が混じった計算で、小数や整数を分数に直して計算するなど柔軟な思考力が身に付いていない児童が5割程度いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1回の算数タイムで、計算の仕方を確認し定着を図る。</li> <li>授業中に小グループで相手が理解できるまで互いに教え合う時間を単元内で最低2回は確保する。</li> <li>評価テストで8割以上の点数がとれるようにする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育の授業で、正しい技能ポイントを理解はするものの、めあてをもとに運動したり振り返ったりする児童は5割に満たない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習資料としてワークシートに良い動きなどの技能ポイントを示す。ワークシートを活用し、めあて学習を推進する。</li> <li>めあてを立て、振り返られる児童が9割以上になるように指導する。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを意欲的に書こうとする児童が多いが、書けない児童も各学級に数名いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中に互いの意見の共通点や相違点をペアやグループで話し合う時間を意図的に設ける。</li> <li>全ての児童が自分の考えを表現できるようにする。</li> </ul>

次年度に向けた  
自己評価  
(A・B・C)
